

第2章 ハケ遺跡第24地点の調査

I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16mで、遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年3月現在31ヶ所で調査が行われている。

主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構（旧福田屋跡）と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀中頃の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土した。さらに2015年

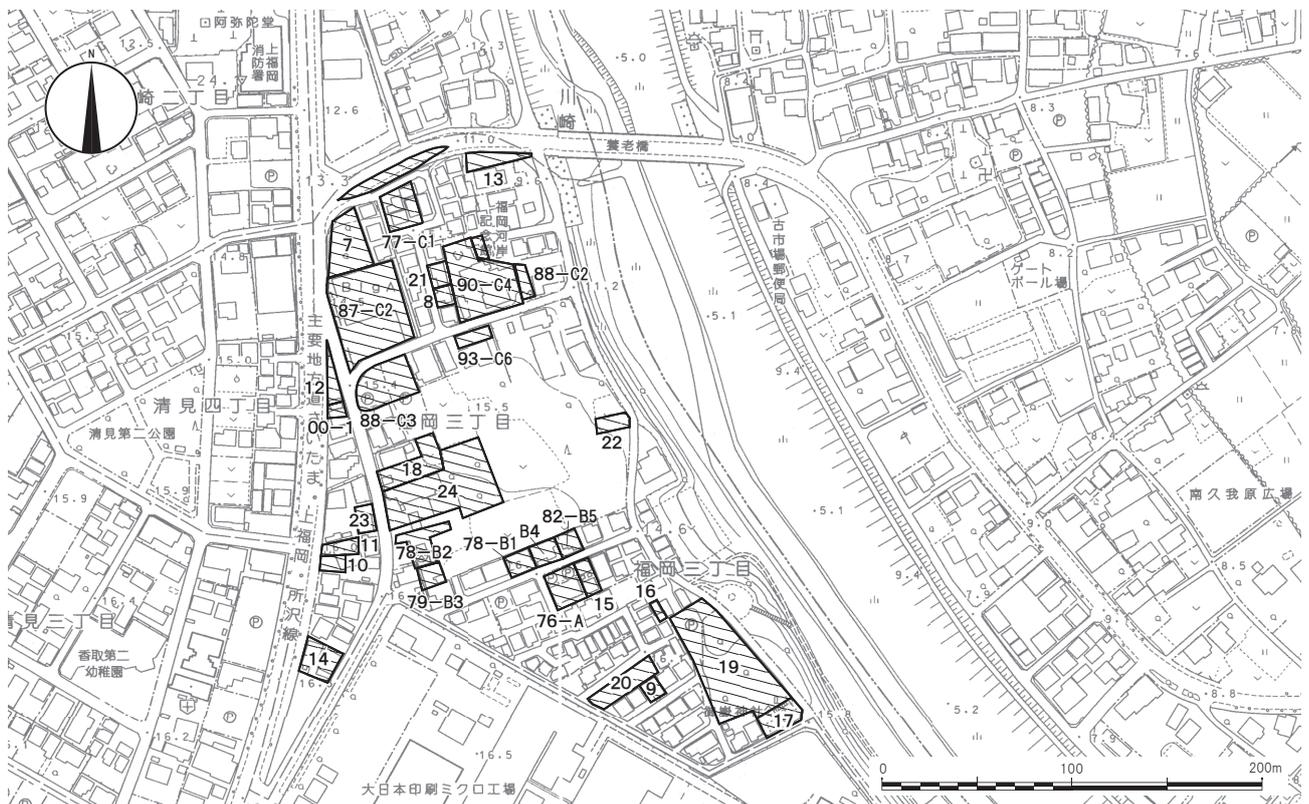
度の調査で6世紀代の円埴3基が新たに確認、検出された。

本遺跡は、かつてハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。

II 調査に至る経過と概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2017年7月7日付けで「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、7月19日～27日まで試掘調査を実施した。幅約1.5～2mのトレンチ9本を設定し、重機による表土除去後人力による精査を行ったところ、縄文時代住居跡、竪穴遺構、土坑、ピット等を確認した。現地表面から遺構確認面までの深さは30～40cmで遺跡への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、原因者負担による本調査を行った。

本調査は7月28日～8月7日まで実施した。調査



第3図 ハケ遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第2表 ハケ遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大字中福岡字遠見1228～2021	1976.9.11～16	306	個人住宅	古墳住居跡1、竪穴遺構3、縄文土器	上福岡市遺跡調査報告書
C-1次	大字中福岡字清見1480	1977.8.2～27	1,794	宅地造成	縄文住居跡5、奈良平安住居跡2、竪穴遺構、土坑、 炉跡	ハケ遺跡調査会ハケ遺跡C 地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28～9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片	埋蔵文化財の調査(I)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11～25	360	貸家建設	土坑4、炉跡1、土器	埋蔵文化財の調査(I)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20～31	166		土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(II)
B-5次	大字中福岡字遠見1228-46	1982.5.10～17	165		溝1、縄文中期土器	埋蔵文化財の調査(V)
C-2次	福岡3-2068-1、2	1987.4.16～5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11、奈良平安住居4、掘立1	埋蔵文化財の調査(X)
C-3次	福岡2-2-1	1988.8.15～20	627	駐車場	縄文中期住居跡4、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(11)
C-試	福岡3-4-2	1988.10.24～28	60	擁壁改修工事	縄文前期住居跡1	埋蔵文化財の調査(11)
C-4次	旧福田屋敷地内	1990.6.20～9.6 H3.1月末～継続調査予定	500		旧福田屋柱礎石跡、鍛冶屋建物跡、(礎石・火処3・物 置跡・粘土貼りつけ円形小竪穴)・江戸前期～中期長方 形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文 後・晩期住居跡3	平成2年度教育要覧市史資 料編
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6～18	141.91	個人住宅	縄文中期土坑6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4次	福岡3-2069-1の一部	1994.6.10～1.31	54	河岸記念館管理 棟・庭造成工事	縄文中期住居跡5、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C-試	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7次	福岡3-2	(2006.7.10～22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構検出	市内遺跡群3
C区8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群6
C区9	福岡3-1257-7、1259-1	(2010.2.2～4)	120	個人住宅	土坑1、風倒木1	市内遺跡群8
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	個人住宅	時期不明溝1	市内遺跡群14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21・22)	157.7	分譲住宅	縄文時代屋外埋蔵1、土器	市内遺跡群14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ビット1、土器	市内遺跡群15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.2・3)	183	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8・9)	184.09	共同住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
16	福岡3-1254-7、14、17	(2014.8.11～9.29)3～9	68	建売住宅	古墳1基、人物・円筒埴輪等、縄文土器	市内遺跡群21
17	福岡3-1219-1、2	(2014.9.26～30)	98.58	個人住宅	現代のゴミ穴1、近世～近代陶磁器、ガラス製品	市内遺跡群20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4～10) 2015.1.6～16	510.67	個人住宅	縄文時代中期住居跡1、炉4、土坑2、溝2、縄文土器	市内遺跡群16
19	福岡3-1222-1、1223～1225、 1255	(2015.3.17～5.11・10.13) 2015.6.2～9.19	2,296.5	宅地造成	古墳3、溝2、縄文土器、土師器、埴輪	市内遺跡群21
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14～16) 2015.10.29・30	375	分譲住宅	古代以降の堀跡1、土坑1、土師器、火工廠境界杭	市内遺跡群21
21	福岡3-1193-4、15、2069-10	(2016.1.5)	101	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
22	福岡3-2061の一部	(2016.12.26～2017.1.19) 2017.1.25～2.8	249.32	はけ自治会集会所施 設	古代住居跡1(H18)、土坑13、ビット13、縄文土器、土 師器	未報告
23	福岡3-1183-1の一部	(2017.7.18)	137	個人住宅	ビット、縄文土器片	未報告
24	福岡3-1178-1、1179-1、1180- 1、1181-1、2066-2、2067	(2017.7.19～27) 2017.7.28～8.7	1,702.15	宅地造成	縄文時代住居跡1、竪穴遺構1、土坑2、近代の集石土 坑1、ビット14、縄文土器、石器、須恵器、陶磁器	市内遺跡群23

第3表 ハケ遺跡縄文時代住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査率	平面形 ()は推定	規模	炉			埋蔵	周溝	主軸 方位	時 期	備 考	文 献
						地床	炉体	石皿						
1	1977	C地区1号住居跡	1/4	(円形)	(600)			○				加曾利E II		ハケ遺跡C地区
2	欠												竪穴遺構に変更	
3	"	C地区5号住居跡	完掘	(方形)	400×500	○						諸礎		"
4	"	C地区6号住居跡	(完掘)			○						加曾利E III	7住と重複	"
5	"	C地区7号住居跡					○	○				加曾利E I		"
6	1987	C地区2次1号住居跡	1/3						○			加曾利E I		埋蔵文化財の調査X
7	"	C地区2次2号住居跡	西1/2	隅丸台形				○		○		加曾利E I	連弧文土器出土	"
8	"	C地区2次3号住居跡	完掘	楕円形	720×600			(○)		○		加曾利E II	連弧文、曾利系多い	"
9	"	C地区2次4号住居跡	北1/2					○				加曾利E II		"
10	"	C地区2次5号住居跡	ほぼ完掘	円形	620	○						加曾利E II		"
11	"	C地区2次7号住居跡	完掘	円形	700			○				加曾利E II		"
12	"	C地区2次8号住居跡	完掘	円形						○		加曾利E I	2軒の住居の重複	"
13	"	C地区2次9号住居跡	完掘	方形	(720)	○			○	○		加曾利E II	10住と重複	"
14	"	C地区2次11号住居跡	完掘	円形	450×400	○						加曾利E II		"
15	"	C地区2次14号住居跡	完掘	円形	660×640		○	○	○	○		加曾利E II	3度建替え	"
16	"	C地区2次16号住居跡	完掘	隅丸台形	670×650	○			○	○		加曾利E II		"
17	1988	C地区3次18号住居跡	完掘	円形	650				○	○		加曾利E II	17住と重複	"
18	"	C地区3次19号住居跡	西2/3	円形	800と500			○		○		加曾利E II	2軒の住居の重複	"
19	"	C地区3次21号住居跡	完掘	円形	460～480				○			加曾利E I	滑石製垂飾品	"
20	"	C地区3次22号住居跡	西4/5	不整形円形	700							加曾利E II		"
21	1990	C地区4次23号住居跡	1/4	(方形)								安行1	床面から土偶	市史資料編
22	"	C地区4次24号住居跡	西側未調査	楕円形										"
23	"	C地区4次25号住居跡	南東隅1/4	(円形)	500							加曾利E II		"
24	"	C地区4次26号住居跡	北東隅1/4	(楕円形)	600							加曾利E III古		"
25	"	C地区4次28号住居跡										加曾利E III		"
26	"	C地区4次29号住居跡							両耳壺			加曾利E III古		"
27	"	C地区4次30号住居跡										称名寺～堀之内		"
28	"	C地区4次31号住居跡										堀之内		"
29	"	C地区4次34号住居跡	一部	楕円形	560					○		加曾利E I		"
30	"	C地区4次35号住居跡	一部	(円形)	(8m×7m)	○						加曾利E III		"
31	2013	7地点J31号住居跡	70%	楕円形	690×550	○				○		勝坂～加曾利E I	H17住、集石土坑3・4と 重複	市内遺跡群13
32	"	7地点J32号住居跡	完掘	円形	480×408	○						勝坂II		"
33	"	7地点J33号住居跡	90%		570×500	○						加曾利E II	H16住、集石土坑1、溝2 と重複	"
34	2014	18地点J34号住居跡	完掘	楕円形	726×580	○	4		○	2		加曾利E II～III		市内遺跡群16
35	欠												竪穴遺構に変更	
36	2017	24地点J36号住居跡	掘り込み確認 できず	(楕円形)	(540×480) 以上			○		○		加曾利E II		市内遺跡群23

の結果、縄文時代住居跡1軒、集石土坑1基、竪穴遺構1基、土坑、ピット、近代の集石土坑1基を検出した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

III 遺構と遺物

(1) J36号住居跡

【位置・検出状況】調査区中央部やや南東寄りに位置する。遺構検出の段階で既に床面であり、住居の掘り込みは確認できなかった。

【形状・規模】平面形態及び規模は不明であるが、ピットの検出状況から長軸540×短軸480cm以上を測る楕円形を呈する住居であったと推定される。

【構造】ピットは28基検出した。支柱穴はやや不均

等だが4本と考えられる。南側にピットが集中する傾向にあり、入口施設の可能性も考えられるが判然としない。周溝は確認できなかった。住居内ピットの規模等については第6図及び第5表参照。

【炉】住居の北寄りに位置し、炉体土器を伴う埋糞炉である。平面形態は南北に長い楕円形で、東側の一部が集石土坑によって壊される。炉体土器の周囲を長軸60×短軸45cmの範囲で掘り込んでおり、深いところで約15cmである。

【埋糞】住居内南側に位置する。ピット12、26と切り合っており、平面形態は不明。底部を欠損する深鉢を正位に埋設する。確認面径は南北40cm以上、東西30cm以上、深さ20cmである。



第4図 ハケ遺跡遺構分布図(1/2,000)

【集石土坑】住居の北寄り、炉の東側に位置する。炉を一部壊して掘り込んでいる。出土遺物より住居に伴うものではなく、廃絶後に形成されたものと考えられる。集石土坑の詳細については第7図及び第4表参照。

【遺物出土状況】覆土がほとんどないため、出土量は多くない。集石土坑内の遺物が比較的多い。住居内からは加曾利EⅡ～Ⅲ式が大部分を占める。対して集石土坑内からは加曾利EⅢ式以降の土器が集中する。

【時期】炉体土器より加曾利EⅡ式期。集石土坑は加曾利EⅢ式期以降。

(2) 竪穴遺構

竪穴遺構は調査区北東部に位置する。当初はJ35号住居跡として調査を開始したが、焼土や被熱の痕跡等が見受けられず、また柱穴も確認できないことから、住居跡とは考えられない。平面形態は円形を呈し、南北390×東西370cm、深さ20cmである。遺構内にピット4基を検出したが、いずれも非常に浅く、土層観察からも竪穴遺構に伴うものとは断言できない。遺物は覆土中から僅かに出土した程度である。

(3) 土坑

土坑は、2基ともに遺構への影響がないためトレン

チ内の調査に留めた。詳細については第6表に掲載した。

①土坑1

調査区北側に位置する。深さが約60cmあり、壁が垂直に立ち上がる。土層の観察から近世以降に帰属し、イモビツ等の可能性が考えられる。遺物は覆土上層に集中し、遺構に伴うものではない。

②土坑2

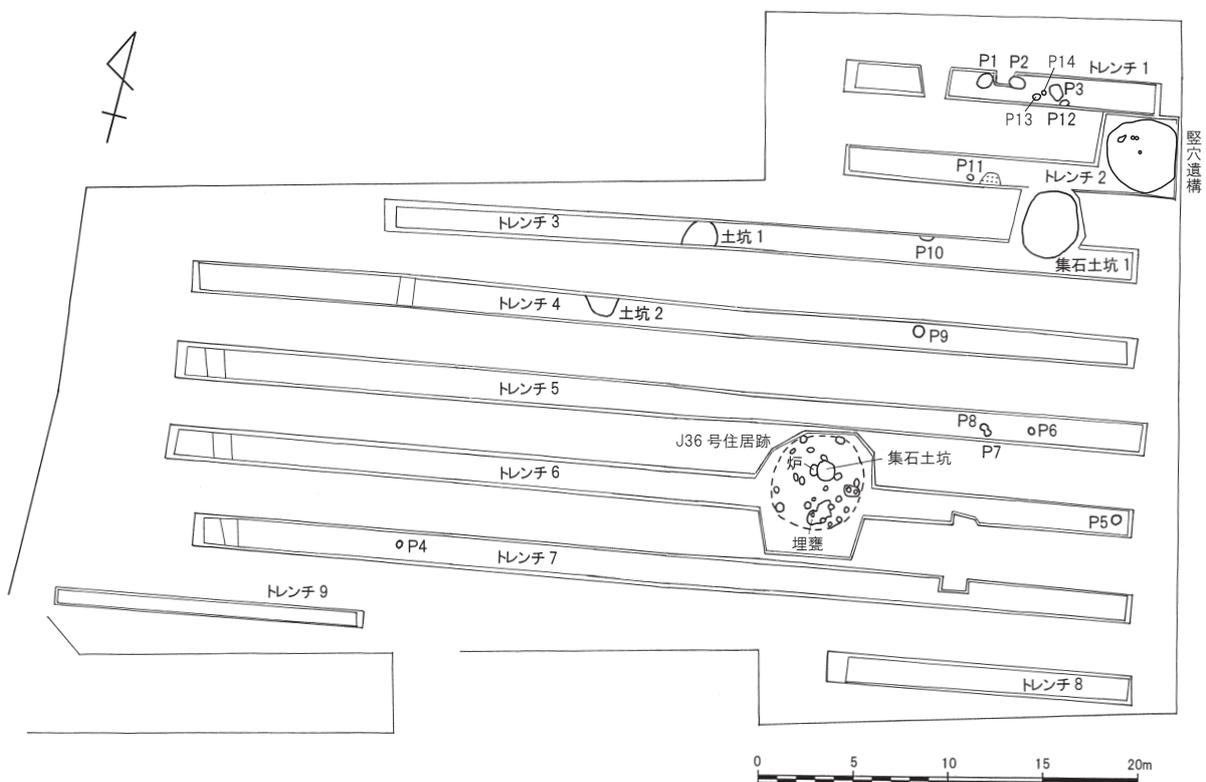
調査区北側、土坑1の南西に位置する。深さが67cmと深く、土坑1と同様に壁が垂直に立ち上がる。土層の観察から近世以降に帰属し、こちらもイモビツ等の可能性がある。遺物は覆土上層に集中し、遺構に伴うものではない。

(4) ピット

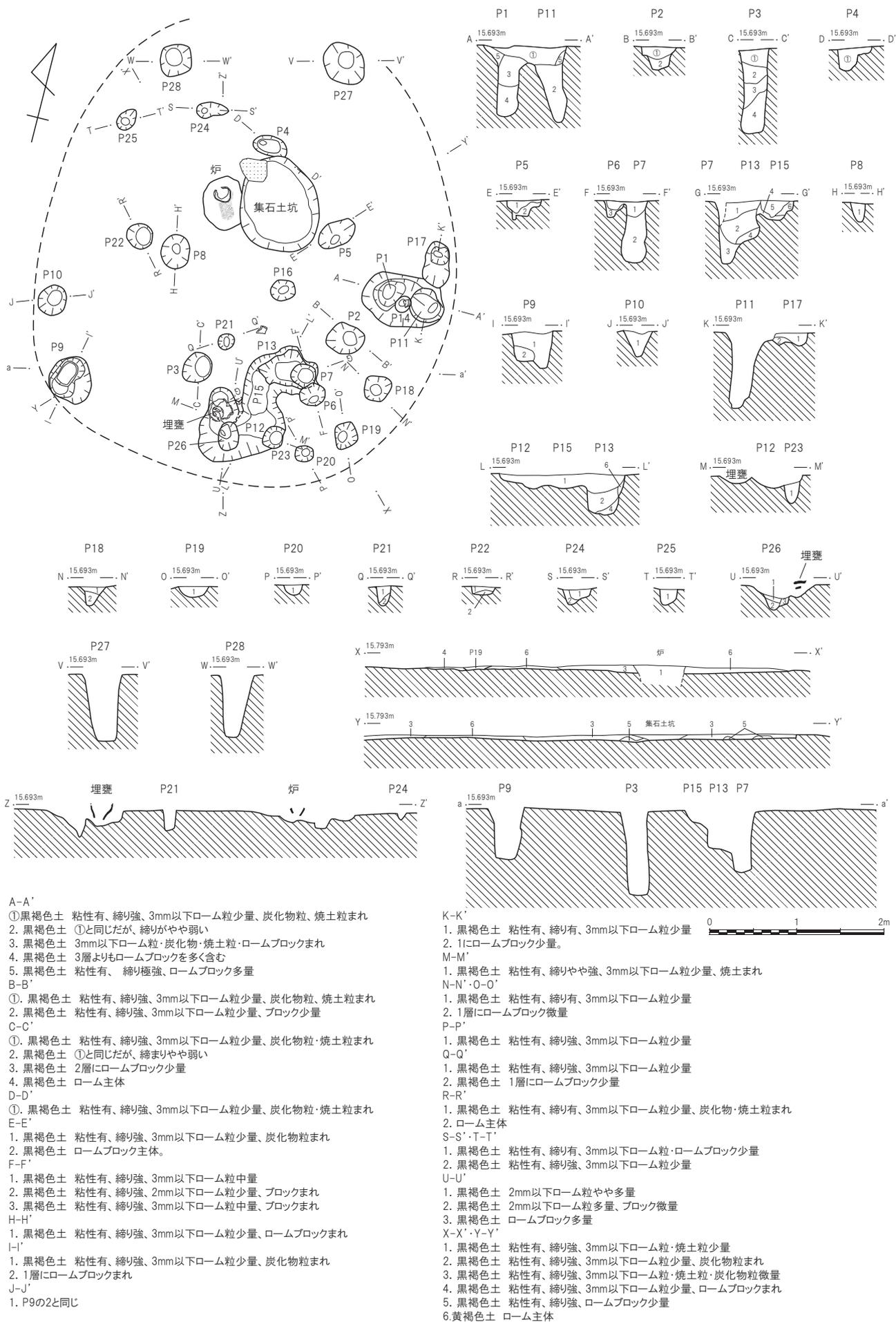
ピットの詳細については第8表に掲載した。ピット1、2、3、12からは比較的まとまって土器が出土したが、いずれも覆土上層からの出土であり、遺構の時期を確定するものではない。

(5) 集石土坑

集石土坑は調査区北東部に位置する。平面形態は楕円形を呈し、遺構の規模は長軸361cm、短軸297cm



第5図 ハケ遺跡第24地点遺構配置図(1/400)



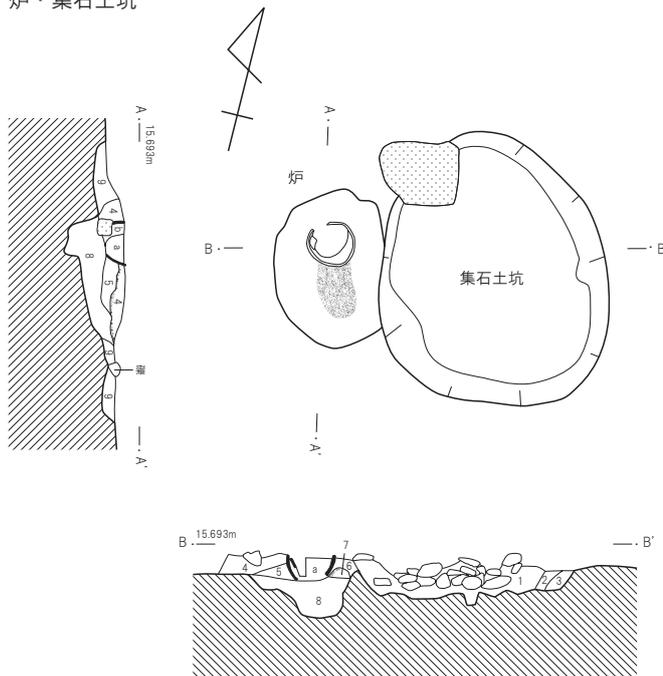
第6図 ハケ遺跡第24地点J36号住居跡(1/60)

を測る。底面は外側が低く、中央部がやや高くなる。土坑のほぼ中央に確認面径 60 × 49 cm、深さ 64 cm のピット状の落ち込みを有する。覆土中に多量の礫と共に縄文土器、石器、須恵器、陶磁器の破片が出土した。礫と遺物は比較的上層に集中している。陶磁器を含むことから縄文時代の集石土坑ではなく、近世以降に帰属する遺構と考えられる。多量の礫や土器を廃棄した痕跡である可能性が高い。

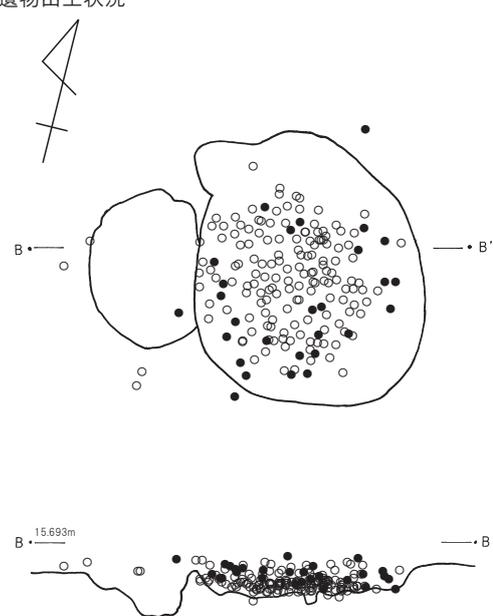
(6) 出土遺物

出土遺物の詳細については第9・10表に掲載した。特筆すべきは竪穴遺構、集石土坑、土坑、ピットから出土した縄文土器の時期が長期に渡ることである。特に近世以降のものと考えられる集石土坑から出土した土器は中期を中心としながらも、前期から後期までバラエティに富んでいる。縄文時代における周辺の遺構の分布状況も踏まえて考える必要があろう。

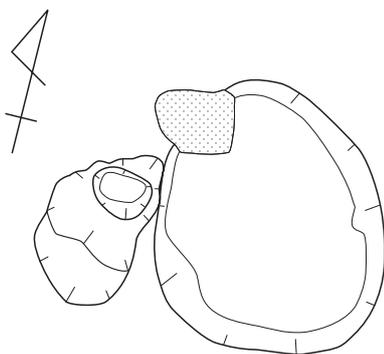
炉・集石土坑



遺物出土状況



掘方

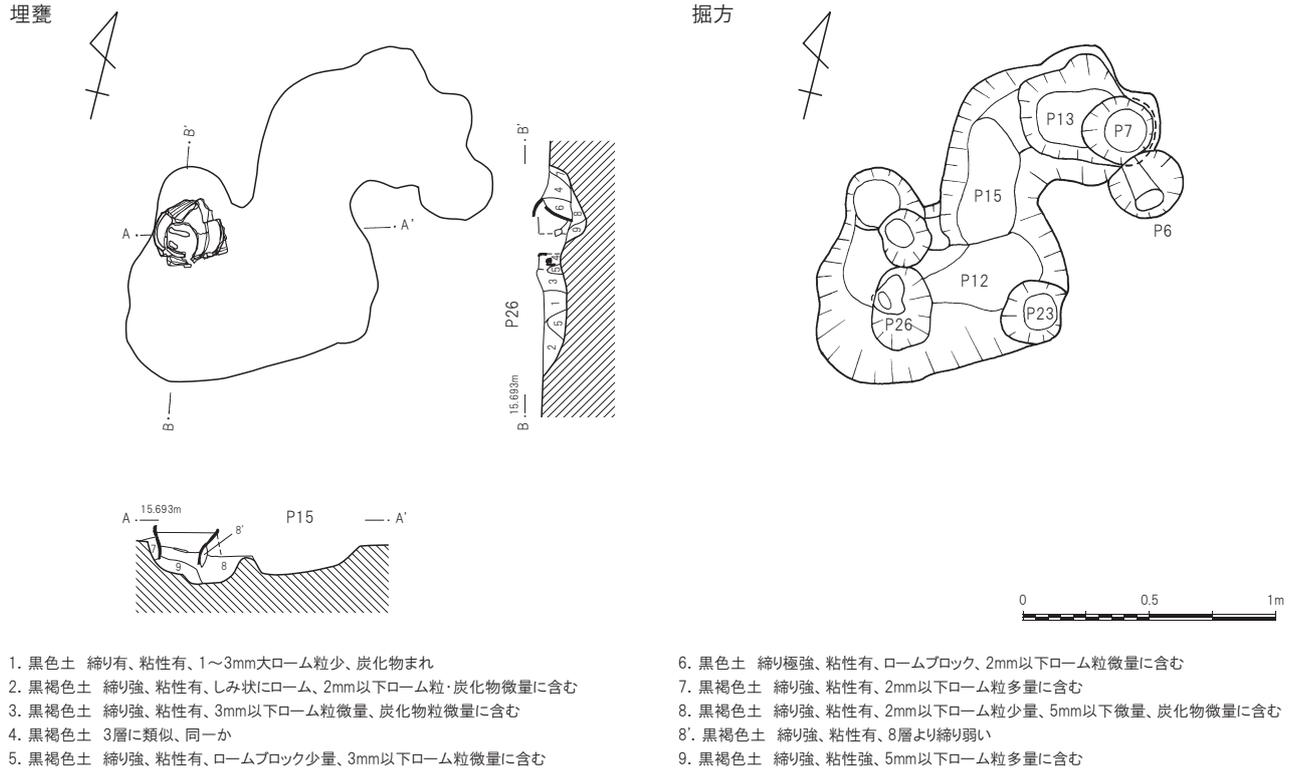


1. 黒褐色土 3mm以下ローム粒微量、炭化物・焼土粒まれに含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下のローム粒・炭化物粒微量に含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下のローム粒多量に含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性やや弱、3mm以下ローム粒少量含む
5. 黒褐色土 締り有、粘性有、7mm以下焼土粒やや多量・5mm以下ローム粒少量含む
6. 黒褐色土 締り有、粘性有、1mm以下焼土粒やや多量、ブロック少量、炭化物まれに含む
7. 黄褐色土 締り有、粘性有、被熱ローム、上部焼土化
8. 褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、3mm以下ローム粒微量に含む
9. にぶい黄褐色土 締り強、粘性有、ローム主体
- a. 黒色土 締り有、粘やや弱、2mm以下ローム粒少量、焼土まれに含む
- b. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1mm以下ローム粒、焼土粒少量含む

第7図 ハケ遺跡第24地点J36号住居跡炉・集石土坑・掘方・遺物出土状況 (1/30)

第4表 ハケ遺跡第24地点集石土坑・出土礫観察表 (単位cm・個数・g%)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	総点数	総重量	平均重量	破損数	完形数	焼成数	未焼成数	タール・煤付着数	タール・煤未付着数	備考
合計	楕円形	111×92	97×71	18.1	155	29,144.17	188.03	89(57.42%)	66(42.58%)	43(27.74%)	112(72.26%)	62(40%)	93(60%)	



第8図 ハケ遺跡第24地点J36号住居跡埋甕・掘方(1/30)

第5表 ハケ遺跡第24地点J36号住居内ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	60×(40)	17×12	80.6	
2	方形	39×34	16×14	26.7	
3	円形	33×32	23×17	97.2	
4	楕円形	40×23	7×5	29.8	
5	楕円形	46×29	13×8	19.3	
6	不明	30×(23)	12×6	19.8	
7	円形	(28)×27	17×16	69.5	
8	円形	38×33	9×6	27.8	
9	円形	51×51	26×16	58.6	
10	円形	35×33	17×13	41.7	
11	不明	57×(38)	13×7	89.6	
12	不明	102×64	78×(28)	14.5	
13	不明	55×53	(28)×22	45.6	
14	円形	18×16	8×7	33.3	
15	不明	(64)×41	(49)×23	22.5	
16	円形	28×24	12×8	30.8	
17	不明	50×31	10×6	17.6	
18	方形	29×29	13×11	24.4	
19	方形	27×27	14×9	25.9	
20	円形	21×18	8×8	15.9	
21	円形	18×18	10×6	22.8	
22	円形	30×29	20×15	10.2	
23	円形	25×24	15×14	39.3	
24	ひょうたん形	35×16	7×5	19.0	
25	楕円形	26×18	9×8	18.2	
26	楕円形	32×23	8×5	21.0	
27	楕円形	52×46	18×17	78.6	
28	方形	36×35	21×17	71.1	

第6表 ハケ遺跡第24地点土坑一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	不明	174×(128)	151×(67)	59.9	
2	不明	182×(109)	163×(90)	67.0	

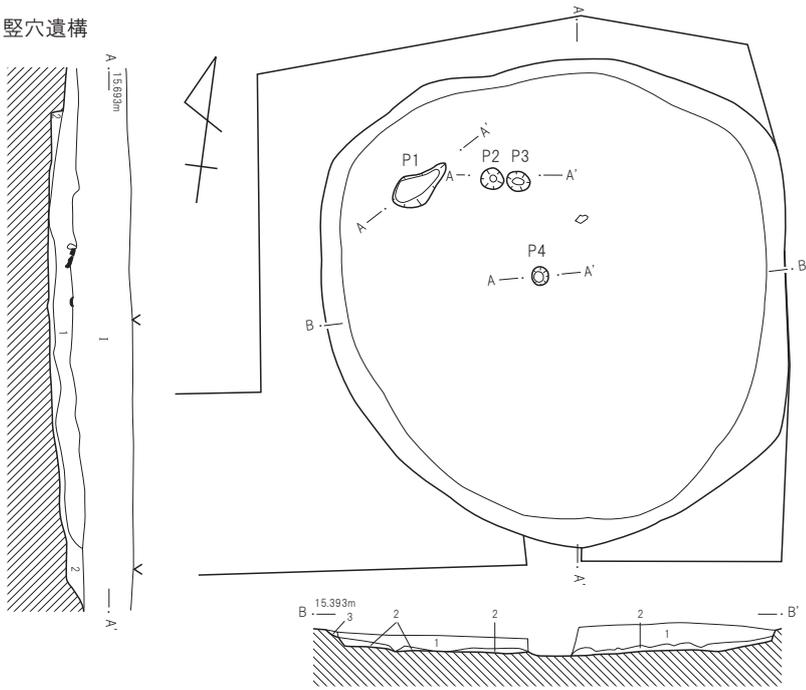
第7表 ハケ遺跡第24地点竪穴遺構内ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	ひょうたん形	50×27	40×16	12.1	
2	円形	18×17	6×5	20.6	
3	円形	18×16	9×5	15.9	
4	円形	15×13	8×8	15.6	

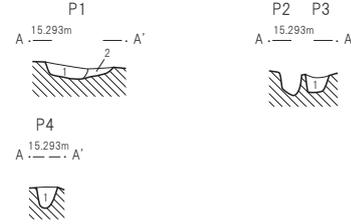
第8表 ハケ遺跡第24地点ピット一覧表(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	楕円形	89×54	43×38	37.8	
2	円形	84×80	63×60	59.5	
3	楕円形	101×72	47×46	87.2	
4	円形	47×45	26×15	36.1	
5	楕円形	51×41	12×11	31.1	
6	楕円形	44×34	15×9	44.2	
7	不明	52×36	19×12	24.0	
8	不明	30×(28)	15×14	16.9	
9	円形	57×54	12×9	40.9	
10	不明	57×(28)	22×(22)	38.7	
11	円形	43×40	20×17	38.2	
12	不明	32×(19)	9×7	50.6	
13	楕円形	40×32	18×18	29.2	
14	円形	23×21	14×10	41.8	

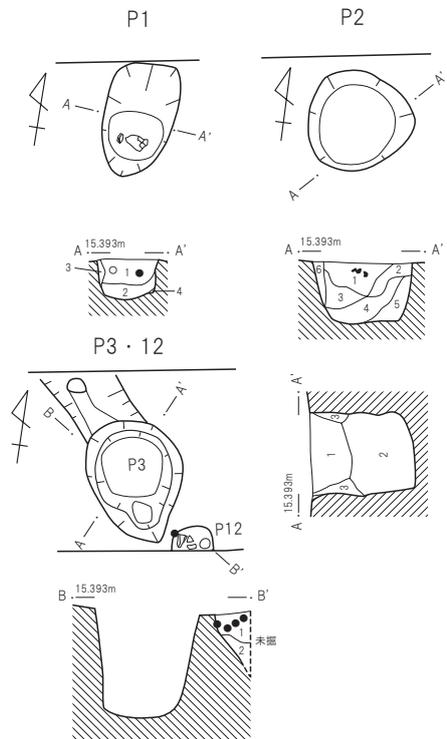
竪穴遺構



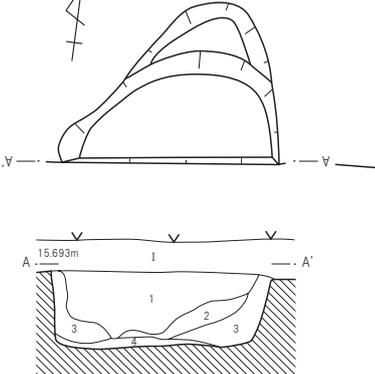
- A-A'
- I 表土
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量、焼土粒まれ
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック、ローム粒多量に含む
- B-B'
1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、ローム粒少量含む
 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック、ローム粒多量に含む
 3. 黄褐色土 締りやや弱、粘性有、カクラン土



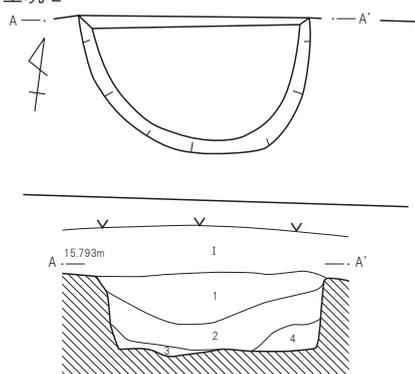
- P1~4
1. 暗褐色土 締りやや弱、粘性有、ロームブロック・粒多量に含む
 2. 黄褐色土 締りやや強、粘性有、ローム主体、暗褐色土を斑に含む



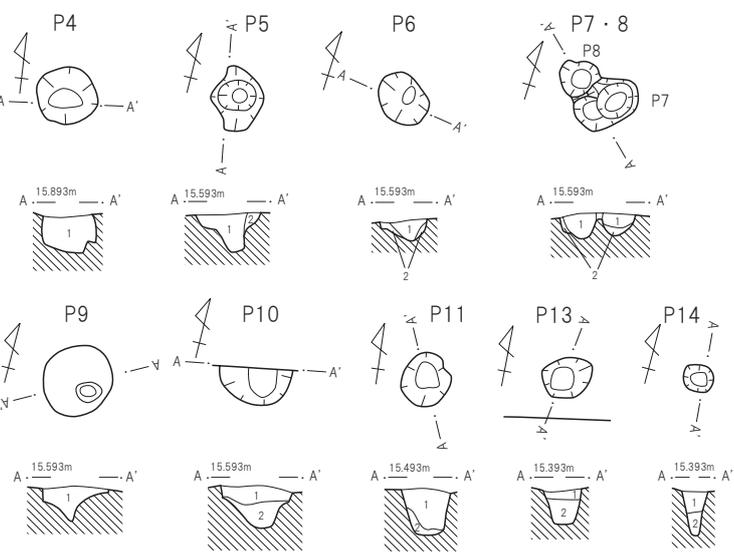
土坑 1



土坑 2

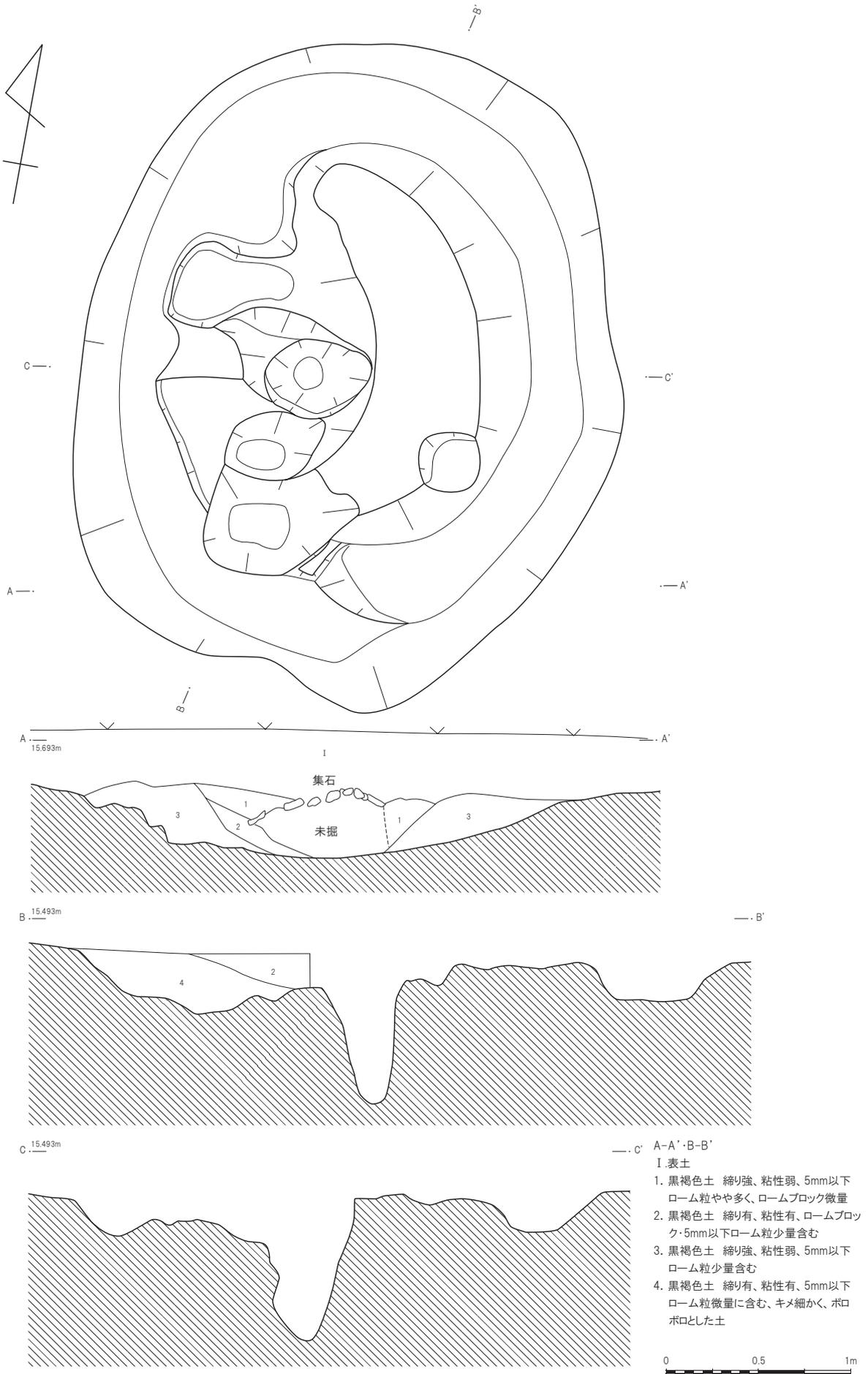


- I 表土
- 土坑1
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量、炭化物・焼土粒まれ、土器片含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒少量、炭化物粒まれ
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒中量、ブロックまれ
 4. にぶい黄褐色土 締り極強、粘性有、5mm以下ローム粒多量、ブロック少量含む
- 土坑2
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒中量、炭化物・焼土粒まれ、土器片を含む
 2. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、3mm以下ローム粒多量、ブロックまれ、炭化物粒まれ
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量、ブロック少量、焼土粒まれ
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒、ブロック少量含む



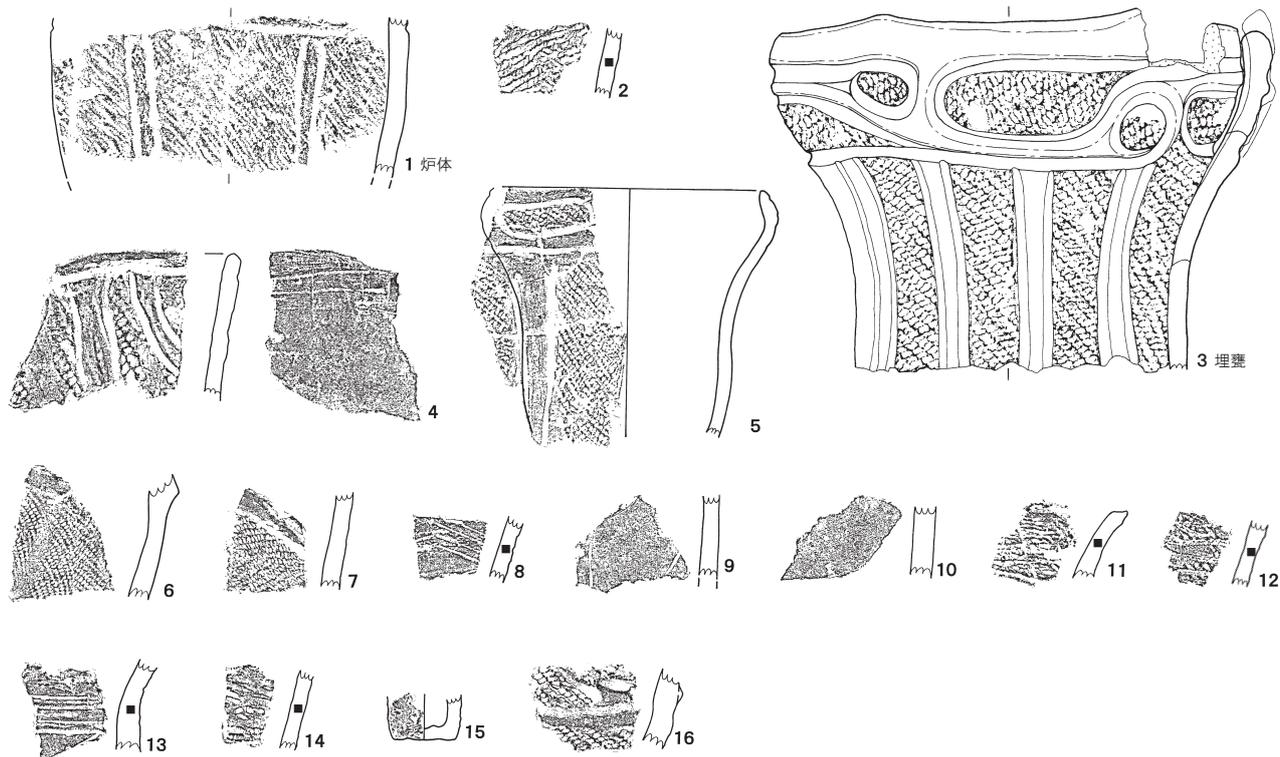
- P1
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒微量に含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒微量、炭・焼土粒まれ
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック主体、崩落土
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量に含む
- P2
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒やや多量に含む
 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒微量、ロームブロック少量含む
 4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック少量含む
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒多量、ブロック状に黒褐色土
 5. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム主体
- P3・P12
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量含む
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒微量に含む
- P4
1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量含む
- P5
1. P4の1層と同じ
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒多量に含む
- P6・8・9・11
1. P4の1層と同じ
 2. ローム主体
- P10
1. P4の1層と同じ
 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、ロームブロック中量含む
- P13
1. 締り強、粘性有、3mm以下ローム粒少量に含む
 2. 締り強、粘性有、5mm以下ローム粒、ロームブロック微量に含む
- P14
1. 3mm以下ローム粒少量含む
 2. P13の2層と同じ

第9図 ハケ遺跡第24地点竪穴遺構・遺物出土状況・土坑・ピット (1/60)

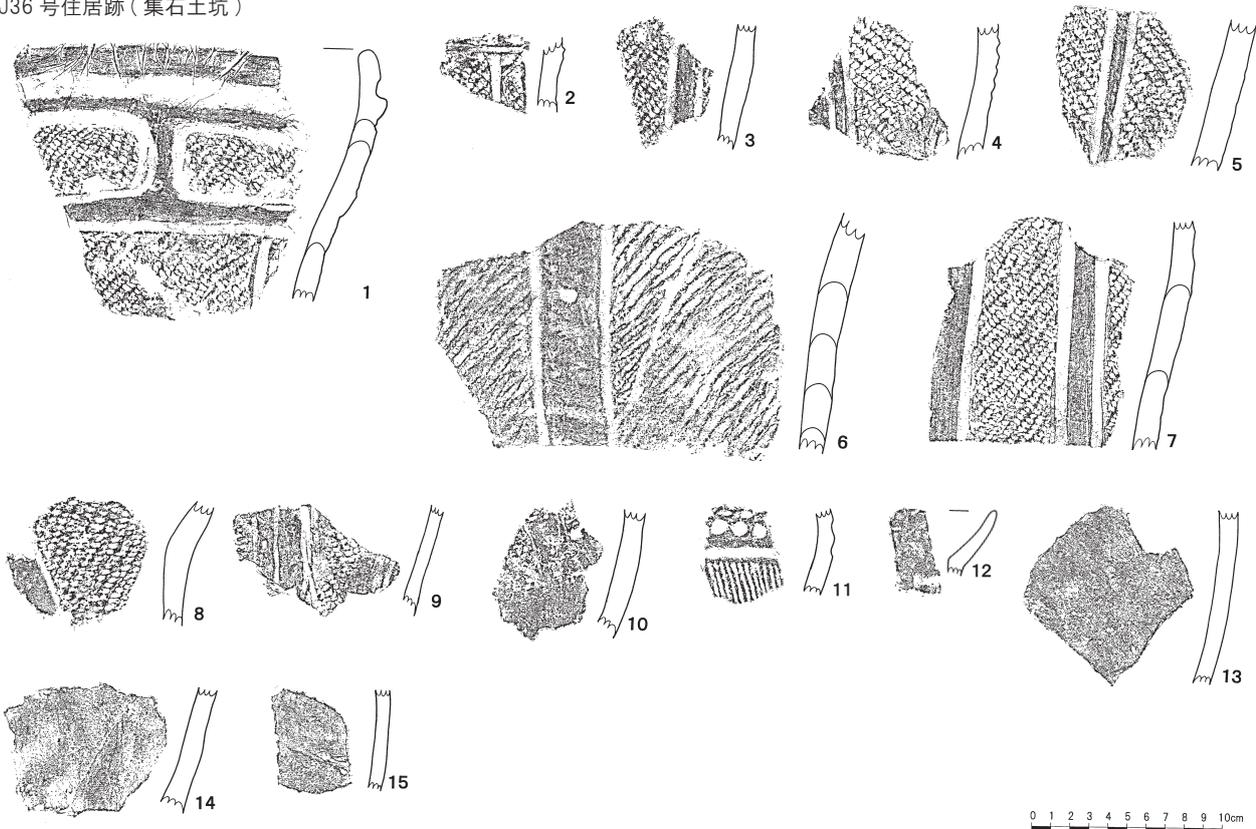


第10図 ハケ遺跡第24地点集石土坑1(1/30)

J36号住居跡

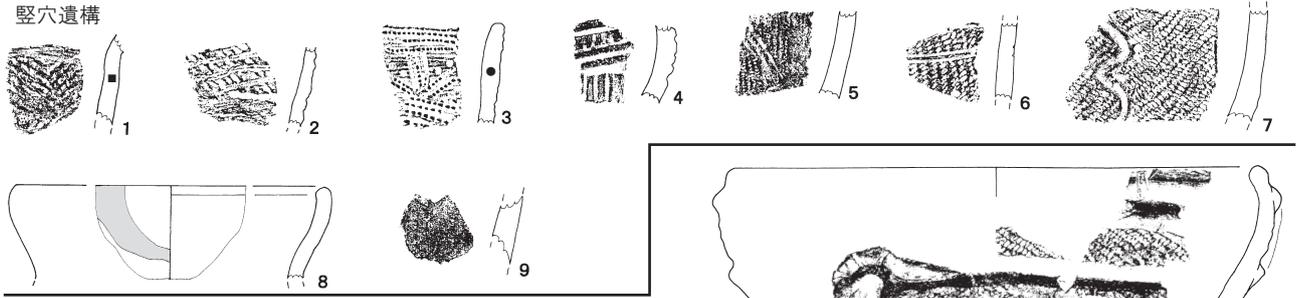


J36号住居跡(集石土坑)



第11図 ハケ遺跡第24地点出土遺物①(1/4)

竪穴遺構

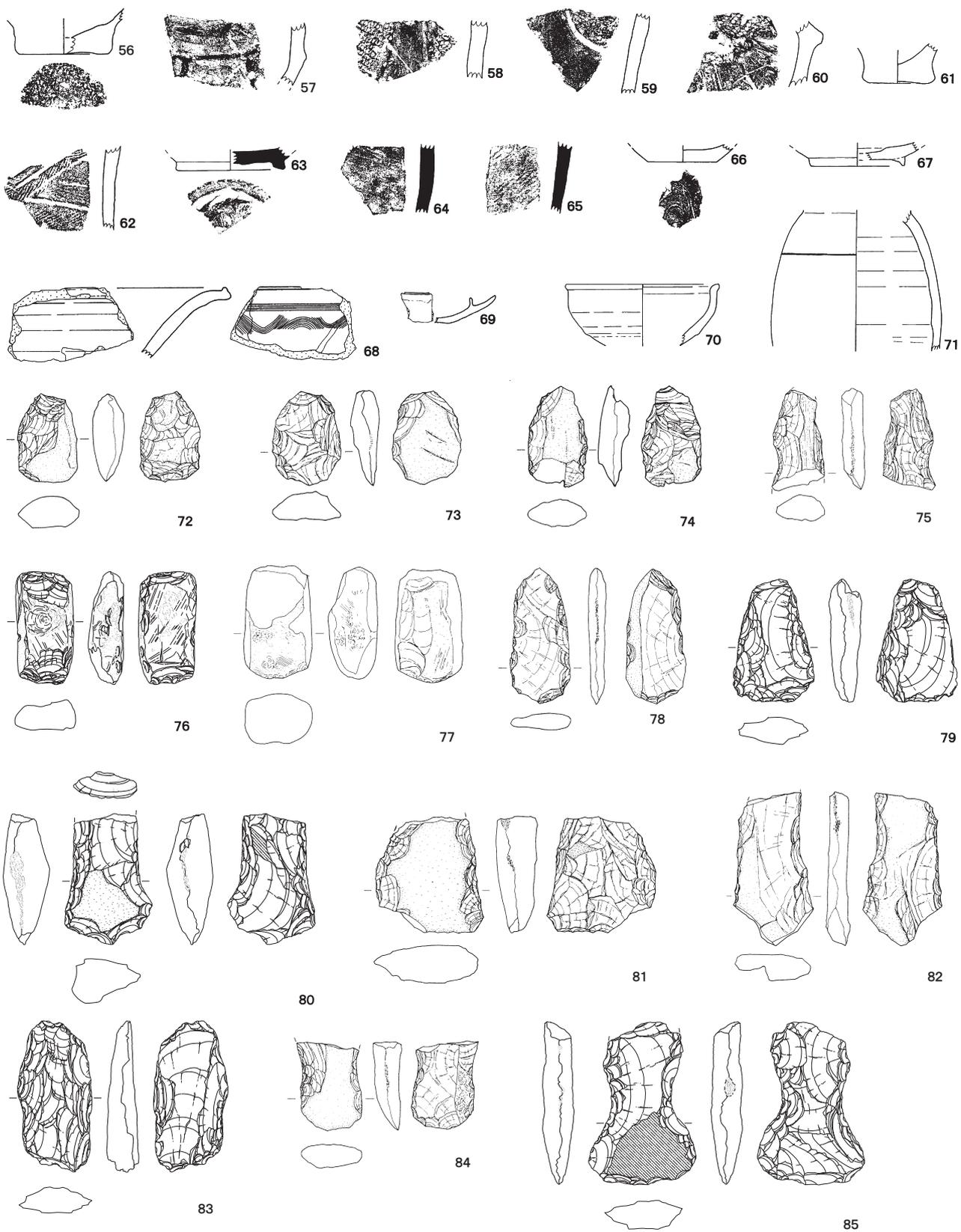


集石土坑



第12図 ハケ遺跡第24地点出土遺物②(1/4)

集石土坑



第13図 ハケ遺跡第24地点出土遺物③(1/4)



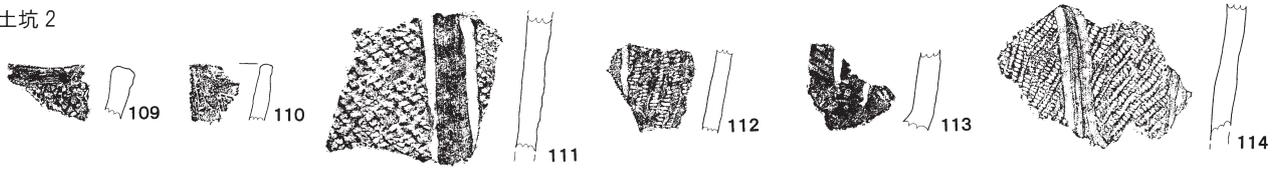
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

第14図 ハケ遺跡第24地点出土遺物④(1/4)

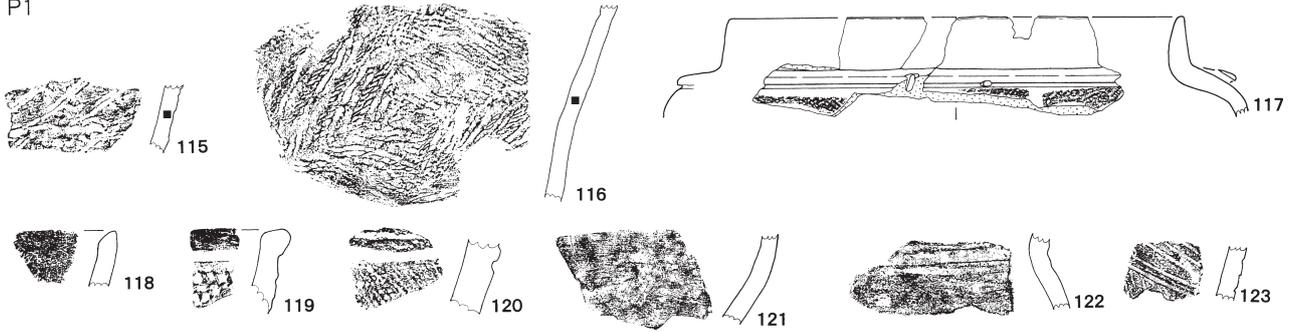
土坑1



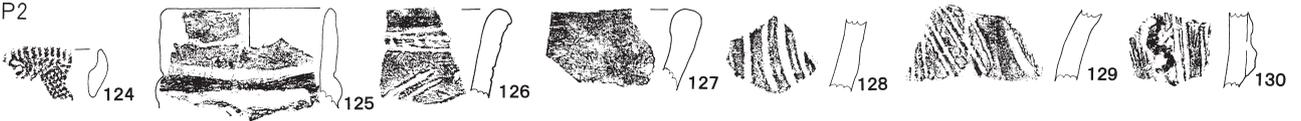
土坑2



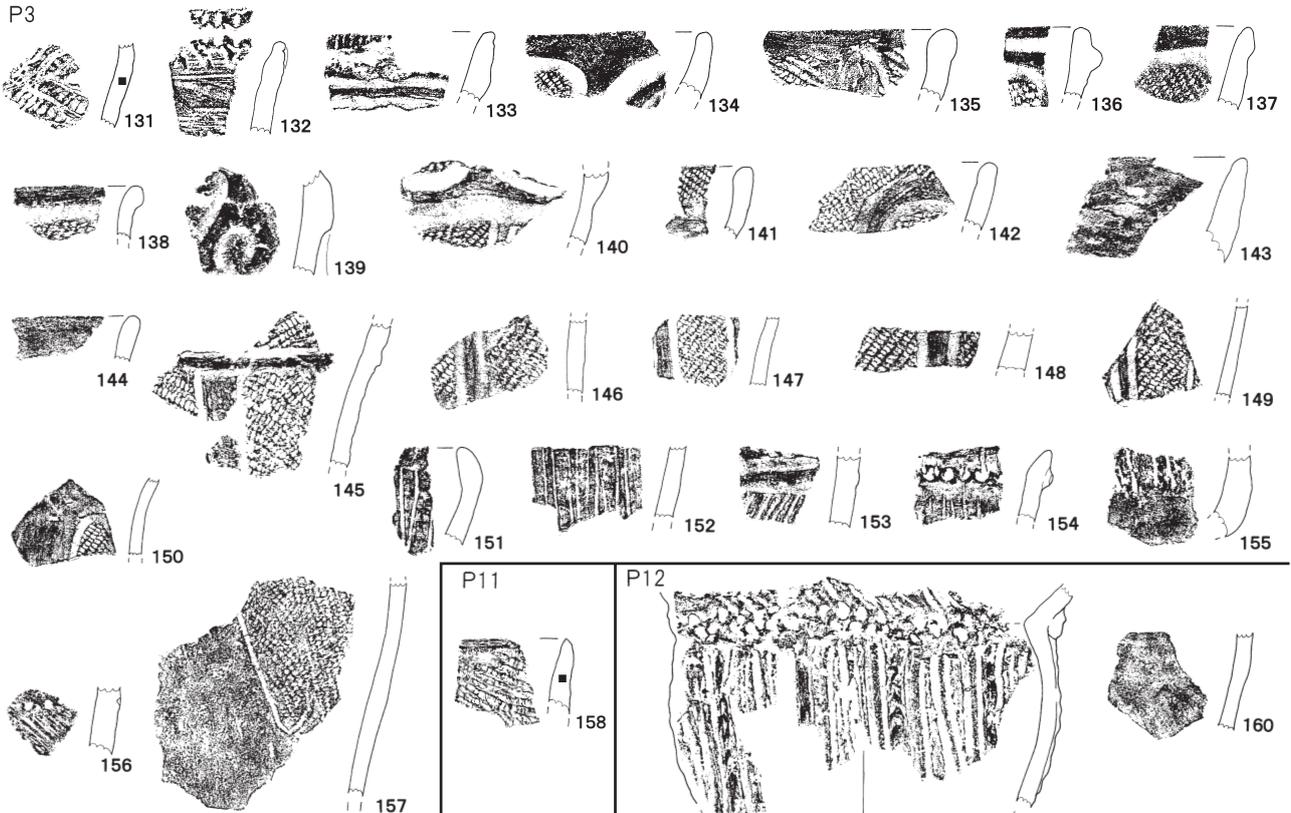
P1



P2



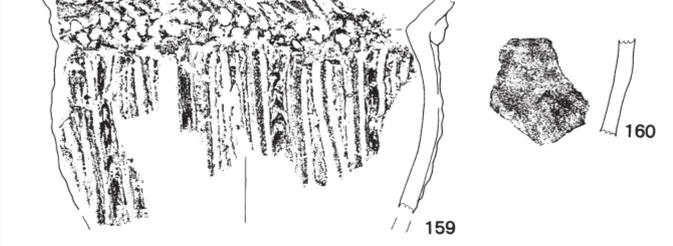
P3



P11



P12



遺構外



第15図 ハケ遺跡第24地点出土遺物⑤(1/4)

第9表 ハケ遺跡第24地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/胎土/備考	時期/型式	
第11図-1	J36号住居跡	深鉢/胴部	炉体土器、径18.5cm、現存高9.2cm/地文縦位RL/頸部とは横沈線で画し、平行沈線による懸垂文/内面のハジケ著しい/3mm大砂粒	加曽利EⅡ新	
第11図-2		深鉢/胴部	地文縦位Lr/繊維多/細粒砂少	黒浜	
第11図-3		深鉢/口縁部~胴部	埋甕、口径27cm、現存高18.7cm。波頭4箇所/口縁部区画内横位LR、胴部縦位RL、2本沈線間磨消懸垂文9単位/細白色粒	加曽利EⅡ新	
第11図-4		深鉢/口縁部	口縁部文様を失う、地文に雑な横位のLR施し沈線で区画・内面にナデ痕残す/白色微粒・粗砂粒	加曽利EⅢ	
第11図-5		深鉢/口縁部~胴部	推定口径14cm・地文細かいRLを施す。口縁部に沈線区画、沈線懸垂文/粗粒砂	加曽利EⅡ	
第11図-6		深鉢/胴部	縦位LR/白色粒/外面黒褐色	加曽利E	
第11図-7		深鉢/胴部	縦位RL/沈線による区画/橙色粒少	加曽利E	
第11図-8		深鉢/胴部	櫛歯による平行条線/極細粒砂多/繊維含む	諸磯	
第11図-9		深鉢/胴部	細い条線/粗砂粒	中期	
第11図-10		深鉢/胴部	無文帯部・磨き顕著/黒色粒多	加曽利	
第11図-11		深鉢/口縁部	地文Lr斜位/繊維多	黒浜	
第11図-12		深鉢/胴部	附加条2種/繊維多	黒浜	
第11図-13		深鉢/胴部	半竹による平行沈線上に小円形竹管文/白色砂粒小、繊維含む	諸磯	
第11図-14		深鉢/胴部	附加条を地文とするが施文が浅く不詳/繊維多	黒浜	
第11図-15		ミニチュア/底部	底径3.2cm/手捏ね	加曽利E	
第11図-16		深鉢/頸部	横位RL/白色砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-1	J36号住居跡 (集石土坑)	深鉢/口縁~胴部	地文LR、口縁部長楕円形区画、沈線懸垂文/橙色粒・白色細砂粒多/明茶褐色	加曽利EⅡ新	
第11図-2		深鉢/胴部	地文に横位LR、沈線懸垂文/橙色粒・白色細砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-3		深鉢/胴部	地文は縦位LR、沈線懸垂文/粗砂粒多/外面ハジケ著しい	加曽利EⅡ	
第11図-4		深鉢/胴部	縦位RL地文、沈線懸垂文/白色細砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-5		深鉢/胴部	地文縦位RLR/沈線懸垂文/白色細砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-6		深鉢/胴部	縦位Lr/幅広磨消懸垂文/白色細砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-7		深鉢/胴部	胴部過半が水平に欠失/地文に横位LRL、幅広磨消懸垂文と沈線で画す/粗砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-8		深鉢/胴部	横位LRL/粗砂粒多	加曽利EⅡ	
第11図-9		深鉢/胴部	横位のLR/沈線懸垂文/橙色粒多/内面に炭化物付着	加曽利E	
第11図-10		深鉢/胴部下	無文帯部/中粒砂/内面に炭化物付着	加曽利E	
第11図-11		深鉢/口縁部	円形列点文下に沈線/縦位の撚糸/白色粒多	加曽利EⅡ	
第11図-12		小型土器/口縁部	無文帯部	加曽利E	
第11図-13		深鉢/胴部	無文帯部/白色微粒、粗砂粒	加曽利E	
第11図-14		深鉢/胴部下	無文帯部/白色微粒	加曽利E	
第11図-15		深鉢/胴部	無文帯部/内外磨き丁寧	加曽利E	
第12図-1	竪穴遺構	深鉢/口縁部	縦位LrとRlの菱形縄文/白色微粒	黒浜	
第12図-2		深鉢/胴部上位	地文附加条LR+r/繊維多/細粒砂少	黒浜	
第12図-3		深鉢/口縁部	極細粘土紐を細半截竹管でなぞり結節状にする/細粒砂、白色粒、金雲母	十三菩提	
第12図-4		深鉢/胴部	上位に半截竹管、下位に縦位の沈線/白色粒	加曽利E	
第12図-5		深鉢/胴部	縦位撚糸Lr/中粒砂・白色粒	加曽利E	
第12図-6		深鉢/胴部	縦位LR/細粒砂	加曽利E	
第12図-7		深鉢/胴部	縦位RL/沈線による懸垂文/大粒砂少/極粗粒砂多	加曽利E	
第12図-8		深鉢/口縁部	無文帯部/極細粒砂多	加曽利E	
第12図-9		深鉢/胴部	無文帯部/極細粒砂多	中期	
第12図-10		深鉢/胴部	横位撚糸RL/繊維多	黒浜	
第12図-11		深鉢/胴部	地文附加条LR+r/繊維多/細粒砂少	黒浜	
第12図-12		深鉢/口縁部	縦位RL/極細粒砂多/繊維多	黒浜	
第12図-13		深鉢/口縁・胴部	横位RL/2本太い沈線懸垂文/極細粒砂	加曽利EⅡ	
第12図-14		深鉢/口縁部	口縁部・胴部共に斜位LR/沈線で渦巻文/中粒砂少	加曽利EⅡ新	
第12図-15		深鉢/口縁部	横位LR/中粒砂多	加曽利EⅡ	
第12図-16		深鉢/口縁部	波状口縁部、縦位LR/中粒砂多	加曽利EⅢ	
第12図-17		深鉢/口縁部	波状口縁部、斜位LR/中粒砂多	加曽利EⅢ	
第12図-18		深鉢/口縁部	区画は横位の沈線/細粒砂多	加曽利EⅢ	
第12図-19		深鉢/口縁部	地文は撚糸/白色粒砂中	加曽利EⅠ	
第12図-20		深鉢/口縁部	横位RL/粗粒砂少	加曽利EⅠ	
第12図-21		深鉢/口縁部	細い隆帯剥落/列点文1ヶ所	加曽利E	
第12図-22		集石土坑	深鉢/胴部	縦位撚糸Lr/粗粒砂多	加曽利E
第12図-23			深鉢/胴部	平行沈線/粗粒砂多	連弧文系?
第12図-24			深鉢/頸部	縦位RL/白色粗粒多、厚さ14mmと厚い	加曽利EⅡ
第12図-25			深鉢/口縁部	竹管による平行線/中粒砂多	加曽利E
第12図-26	深鉢/胴部		波状櫛歯状工具文/中粒砂中	加曽利E	
第12図-27	深鉢/胴部		縦位櫛歯状工具文/弧状の沈線/粗粒砂多	加曽利EⅡ	
第12図-28	深鉢/胴部		縦位櫛歯状工具文/弧状の沈線/粗粒砂多。No.27と同一個体か	加曽利EⅡ	
第12図-29	深鉢/胴部		縦位櫛歯状工具文/平行沈線/粗粒砂多	加曽利EⅡ	
第12図-30	深鉢/胴部		縦位撚糸RL/弧状の沈線/中粒砂中	加曽利EⅡ	
第12図-31	深鉢/胴部		櫛歯状工具文弧を描く/中粒砂中	加曽利EⅡ	
第12図-32	深鉢/胴部		3本の沈線で弧を描く/細粒砂中	加曽利EⅡ	
第12図-33	深鉢/胴部		地文無文、円形刺突具/細粒砂中	加曽利	
第12図-34	深鉢/胴部		無文/雲母、細粒砂中	中期	
第12図-35	深鉢/胴部		無文/つまみあげ隆帯/細粒砂中	加曽利EⅡ	

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/胎土/備考	時期/型式	
第12図-36	集石土坑	深鉢/口縁部	無文/白色粒多	中期	
第12図-37		深鉢/口縁部	無文/剥離著しい/白色細粒多	中期	
第12図-38		深鉢/底部	無文/底径10.3/細粒多	中期	
第12図-39		深鉢/底部	無文/底径8.5/中粒砂中	中期	
第12図-40		深鉢/底部	沈線懸垂文/底径8.5/中粒砂中	中期	
第12図-41		深鉢/底部	無文/赤色粒多	中期	
第12図-42		深鉢/底部	無文	中期	
第12図-43		深鉢/底部	無文/白色粒多	中期	
第12図-44		深鉢/底部	無文	中期	
第12図-45		深鉢/底部	無文	中期	
第12図-46		深鉢/底部	無文	中期	
第12図-47		深鉢/底部	無文/垂直に立ち上がる	加曽利EⅢ	
第12図-48		深鉢/把手	無文/中央部をなでる	中期	
第12図-49		器台	縦位RL/内面無文/着地面平坦/粗粒砂少	加曽利	
第12図-50		深鉢/口縁部	口唇部無文,断面三角/横位LR・RL羽状	加曽利EⅢ	
第12図-51		深鉢/口縁部	口唇部無文/横位LR・RL羽状/粗粒砂少	加曽利EⅢ	
第12図-52		深鉢/胴部	沈線間磨消す・地文細Lr	加曽利EⅢ	
第12図-53		深鉢/胴部	沈線によるU字文、区画内細かいRL/粗粒砂	加曽利EⅢ	
第12図-54		深鉢/胴部	沈線によるU字文、区画内細かいLr充填/粗粒砂	加曽利EⅢ	
第12図-55		深鉢/胴部・底部	無文、ヘラ状工具で斜位になでる,厚さ1.9mm/褐色ないし明褐色/底径8.5	加曽利EⅢ	
第13図-56		深鉢/底部	垂直に立ち上がる/無文/粗粒砂少	加曽利EⅢ	
第13図-57		深鉢/口縁部	微隆起線で口唇部と画する/白色微粒多	加曽利EⅣ	
第13図-58		深鉢/胴部	微隆起線内は縦位Lrで充填/中粒砂中	加曽利EⅣ	
第13図-59		深鉢/胴部	沈線によるU字文、区画内剥離/微白色粒	加曽利EⅢ	
第13図-60		深鉢/胴部	隆帯上に横位LR、地文櫛状工具	加曽利E	
第13図-61		深鉢/底部	底径4.9/沈線/中粒砂多	堀之内	
第13図-62		深鉢/胴部	三角形の区画文を描く横位LR/中粒砂中	堀之内	
第13図-63		須恵器/長頸瓶高台付底部	轆轤成形・糸切底・底部周辺のなぞり痕/高台径8.0cm/白色針状物質少/色調:灰色		
第13図-64		須恵器/甕	轆轤成形/白色針状物質少/色調:明灰色		
第13図-65		須恵器/甕	轆轤成形・外面に平行叩き目/白色針状物質少/色調:灰色		
第13図-66		カワラケ/底部	轆轤成形/糸切痕/胎土:軟質でにぶい橙色	16c	
第13図-67		陶器/皿底部	轆轤成形/高台貼付/瀬戸・美濃		
第13図-68		陶器/水鉢	轆轤成形/緑釉流し掛け/内面刷毛目/瀬戸・美濃		
第13図-69		陶器/燈火受付皿	轆轤成形/灰釉、外面釉拭き取り/瀬戸・美濃	18c	
第13図-70		陶器/中碗	轆轤成形/鉄釉/瀬戸・美濃「天目茶碗」	17c	
第13図-71		磁器/中瓶	轆轤成形/染付、透明釉、肥前		
第15図-103		土坑1	深鉢/口縁部	貼付微隆起上にLr押圧/中粒砂中	堀之内
第15図-104			深鉢/口縁部	無文帯/中粒砂	加曽利
第15図-105			深鉢/胴部	横位LR/中粒砂多	加曽利
第15図-106			深鉢/胴部	無文帯・隆帯貼付裾部/中粒砂中	加曽利
第15図-107			深鉢/頸部	横位RL・羽状/平行沈線区画/中粒砂多	加曽利
第15図-108			深鉢/胴部	沈線/内外面研磨/細粒砂	堀之内
第15図-109	深鉢/口縁部		横位Lr/中粒砂中	加曽利	
第15図-110	深鉢/口縁部		細かい半截竹管/粗粒砂少	諸磯	
第15図-111	土坑2	深鉢/胴部	斜位RL/沈線幅広懸垂文/粗粒砂少	加曽利EⅡ	
第15図-112		深鉢/胴部	縦位LR/沈線/中粒砂	加曽利E	
第15図-113		深鉢/底部上	縦位細RL/沈線区画/赤色粒	加曽利E	
第15図-114		深鉢/胴部	縦位RL/幅広沈線/粗粒砂	加曽利EⅡ	
第15図-115	深鉢/胴部	地文附加条LR+r横位施文/白色粒砂	黒浜		
第15図-116	深鉢/胴部	附加条RL/白色粒砂少・繊維多	黒浜		
第15図-117	有孔鏝付/口縁部	地文に細縄文/粗粒砂・極細白色粒多	加曽利		
第15図-118	深鉢/口縁部	無文/粗粒砂多	中期		
第15図-119	P1	深鉢/口縁部	横位LR/沈線	加曽利E	
第15図-120		深鉢/胴部	縦位RL/沈線/白色粒砂	加曽利E	
第15図-121		深鉢/胴部	無文/内外磨きなど	中期	
第15図-122		深鉢/胴部	横位沈線/白色・黒雲母粒	中期	
第15図-123	深鉢/胴部	平行半截竹管/金雲母末	加曽利		
第15図-124	深鉢/口縁部	押引手法による連続半截竹管	中期初頭		
第15図-125	深鉢/口縁部	口縁部は垂直/無文帯/有孔鏝付か?/粗粒砂中	中期		
第15図-126	P2	深鉢/口縁部	口唇部直下に半截竹管押圧/地文に半截竹管/白色微粒	勝阪	
第15図-127		深鉢/口縁部	無文帯/中粒砂超多	加曽利	
第15図-128		深鉢/胴部	弧状沈線/中粒砂	加曽利	
第15図-129		深鉢/胴部	半截竹管工具による平行沈線/中粒砂多	加曽利	
第15図-130		深鉢/胴部	地文に条線、隆帯を波状に懸垂/中粒砂中	加曽利EⅠ	
第15図-131		深鉢/胴部	RI・Lr/微白色粒砂	黒浜	
第15図-132		深鉢/口縁部	口唇部波状折り曲げ/中粒砂多	諸磯C	
第15図-133	P3	深鉢/口縁部	口唇部刻み/微白色粒多	加曽利	
第15図-134		深鉢/口縁部	区画内RL/微白色粒多	加曽利EⅡ	
第15図-135		深鉢/口縁部	縦位RL/中粒砂中	加曽利EⅢ	
第15図-136		深鉢/口縁部	LR/橙色粒砂多	加曽利EⅡ	
第15図-137		深鉢/口縁部	摩滅著し/斜位LR/白色微粒	加曽利EⅡ	

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/胎土/備考	時期/型式	
第15図-138	P3	深鉢/口縁部	横位LR/中粒砂中	加曾利E II	
第15図-139		深鉢/胴部	渦巻文/中粒砂多	加曾利E II	
第15図-140		深鉢/胴部	口縁部・胴部を沈線で区画・横位LR/白色微粒	加曾利E II	
第15図-141		深鉢/口縁部	縦位LR/粗粒砂少	加曾利E I	
第15図-142		深鉢/口縁部	地文斜位LR・沈線磨消/橙色粒	加曾利E III	
第15図-143		深鉢/口縁部	無文帯/白色粒	加曾利	
第15図-144		深鉢/口縁部	無文帯/小粒砂多	加曾利	
第15図-145		深鉢/胴部	横位LR・沈線懸垂文/中粒砂中	加曾利 II	
第15図-146		深鉢/胴部	横位LR・沈線懸垂文/中粒砂中	加曾利 II	
第15図-147		深鉢/胴部	縦位LR・沈線懸垂文	加曾利 II	
第15図-148		深鉢/胴部	横位LR・沈線懸垂/橙色粒砂	加曾利 II	
第15図-149		深鉢/胴部	縦位LR・沈線懸垂文	加曾利 II	
第15図-150		深鉢/胴部	横位RL・沈線区画・磨消/小粒砂	加曾利 III	
第15図-151		深鉢/口縁部	櫛歯状工具/中粒砂中	加曾利	
第15図-152		深鉢/口縁部	縦位櫛歯状工具/微白色粒砂中	加曾利	
第15図-153		深鉢/胴部	斜位櫛歯状工具・沈線区画/砂粒多	加曾利	
第15図-154		深鉢/口頸部	地文櫛歯状工具・貼付隆帯上刺突/砂粒中	曾利系	
第15図-155		深鉢/底部直上	櫛歯状工具/粗粒砂多	曾利系	
第15図-156		深鉢/胴部	櫛歯状工具・刺突	曾利系	
第15図-157		深鉢/胴部	横位LR・沈線区画/長石・小粒砂	加曾利 III	
第15図-158		P11	深鉢/口縁部	縦位Lr	黒浜
第15図-159		P12	深鉢/頸胴部	縦位6本歯櫛状工具・頸部貼付隆帯上に交互刺突・せり上げ懸垂・頸部上斜位櫛歯/粗粒砂多	曾利系
第15図-160			深鉢/胴部	無文帯/内外面磨き/白色粒多	後期
第15図-161		遺構外	深鉢/口縁部	縦位RL/微白色粒	黒浜
第15図-162			深鉢/口縁部	沈線渦巻文/細白色粒	加曾利E II
第15図-163			深鉢/胴部	横沈線で区画・縦位櫛歯・S字沈線懸垂文/砂粒多	曾利系
第15図-164			深鉢/口縁部	沈線下縦位細LR/粗粒砂	堀之内

第10表 ハケ遺跡第24地点出土石器観察表 (単位 cm・g)

図版番号	種別/器形	長さ	幅	厚さ	重量	石材/推定生産地	残存/備考
第13図-72	小型打製石斧	6.28	4.05	2.16	73.40	ホルンフェルス	撥型/完形
第13図-73	小型打製石斧	6.51	4.73	1.98	70.77	ホルンフェルス	丸みのある撥型/完形
第13図-74	小型打製石斧	6.64	3.99	1.88	61.93	細粒砂岩	自然面を残す/刃部欠損
第13図-75	打製石斧	6.82	3.45	1.62	48.98	粗粒砂岩	刃部欠損
第13図-76	小型打製石斧	7.93	3.99	2.45	139.85	緑泥片岩	短冊型、側面に自然面
第13図-77	打製石斧	7.91	4.93	3.54	201.60	安山岩	敲打による成形
第13図-78	打製石斧	9.45	4.26	1.16	62.46	頁岩	横長素材剥片を使用、自然面を残し、左側面陵上は刃潰し様の加工、横刃型石器か/完形
第13図-79	打製石斧	8.73	5.56	2.09	125.46	細粒砂岩	撥型/完形
第13図-80	打製石斧	9.32	6.07	3.31	192.59	礫岩	ややくびれる撥型/基部・刃部欠損
第13図-81	打製石斧	8.01	7.19	2.93	217.51	中粒砂岩	撥型/基部・刃部欠損
第13図-82	打製石斧	10.45	5.64	1.47	114.20	ホルンフェルス	刃部欠損
第13図-83	打製石斧	10.06	5.25	2.21	152.35	緑泥片岩	基部欠損
第13図-84	打製石斧	6.06	4.32	1.89	68.15	中粒砂岩	くびれの弱い分銅型/刃部欠損
第13図-85	打製石斧	11.54	7.48	2.09	201.29	粗粒砂岩	分銅型、刃部には摩滅が見られる/完形
第14図-86	打製石斧	8.78	7.40	2.27	145.02	中粒砂岩	分銅型、刃部には摩滅が見られる/完形
第14図-87	打製石斧	7.57	7.00	2.66	192.20	ホルンフェルス	側面に自然面を残す/下半欠損
第14図-88	打製石斧	7.14	5.76	1.62	94.32	中粒砂岩	下半欠損
第14図-89	打製石斧	9.42	7.08	4.09	349.36	ホルンフェルス	完形か
第14図-90	磨製石斧	12.43	4.70	2.33	217.46	輝緑凝灰岩	刃部の左側に使用による剥離が集中する、敲打痕が表裏・側面の上部に見られる
第14図-91	磨製石斧?	6.19	3.84	1.80	79.40	凝灰岩?	表裏面磨製、側面敲打痕/刃部欠損
第14図-92	敲石	10.06	2.69	2.65	117.76	緑色岩	端部・側面に敲打痕/一部残存
第14図-93	敲石	11.50	3.09	2.62	125.86	細粒砂岩	上下端部に敲打痕/一部欠損
第14図-94	凹石	10.23	9.83	2.18	352.28	緑泥片岩	完形か
第14図-95	凹石	7.60	6.69	1.27	83.72	結晶片岩	一部残存
第14図-96	磨石	7.28	7.87	3.28	262.52	花崗岩	側面以外平滑/2分の1残存
第14図-97	磨石・凹石	6.60	6.34	3.76	253.49	花崗岩	表裏中央に凹み、側面以外平滑/2分の1残存
第14図-98	磨石・凹石	4.07	8.65	4.25	234.14	花崗岩	表裏に凹み、側面以外平滑/被熱し一部黒色化/3分の1残存
第14図-99	磨石・凹石	7.80	7.22	3.67	310.18	花崗岩	表裏に凹み、側面以外やや平滑/6分の1残存
第14図-100	磨石	7.17	8.50	4.65	371.86	安山岩	接合/全面平滑/2分の1残存
第14図-101	磨石	10.43	4.61	3.99	205.75	花崗岩	裏面のみ平滑/4分の1残存
第14図-102	石核	5.41	6.09	4.37	226.13	頁岩	縦長の剥離



ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居跡完掘



ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居跡集石土坑検出



ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居跡炉・集石土坑完掘



ハケ遺跡第 24 地点 J36 号住居跡埋甕



ハケ遺跡第 24 地点本調査風景



ハケ遺跡第 24 地点竪穴遺構



ハケ遺跡第 24 地点土坑 1



ハケ遺跡第 24 地点土坑 2



ハケ遺跡第 24 地点ピット 1



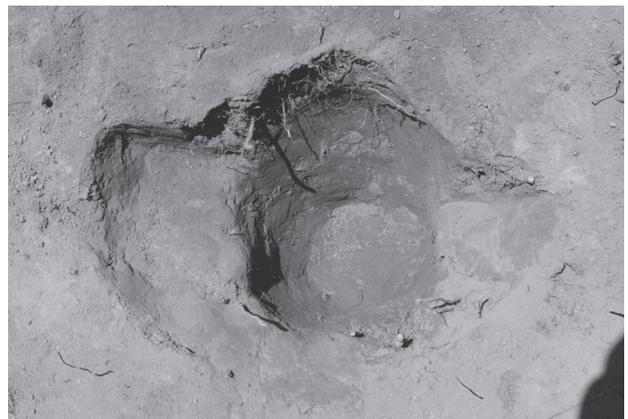
ハケ遺跡第 24 地点ピット 2



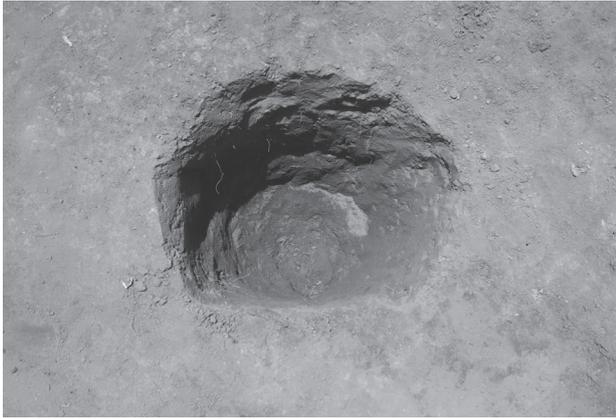
ハケ遺跡第 24 地点ピット 3



ハケ遺跡第 24 地点ピット 4



ハケ遺跡第 24 地点ピット 5



ハケ遺跡第 24 地点ピット 6



ハケ遺跡第 24 地点ピット 7・8



ハケ遺跡第 24 地点ピット 9



ハケ遺跡第 24 地点ピット 10



ハケ遺跡第 24 地点ピット 12



ハケ遺跡第 24 地点ピット 13・14



ハケ遺跡第 24 地点集石土坑検出状況



ハケ遺跡第 24 地点集石土坑完掘



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 1



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 2



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 2



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 3



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 5



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 6



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 7



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 8



ハケ遺跡第 24 地点トレンチ 9



ハケ遺跡第 24 地点試掘調査風景

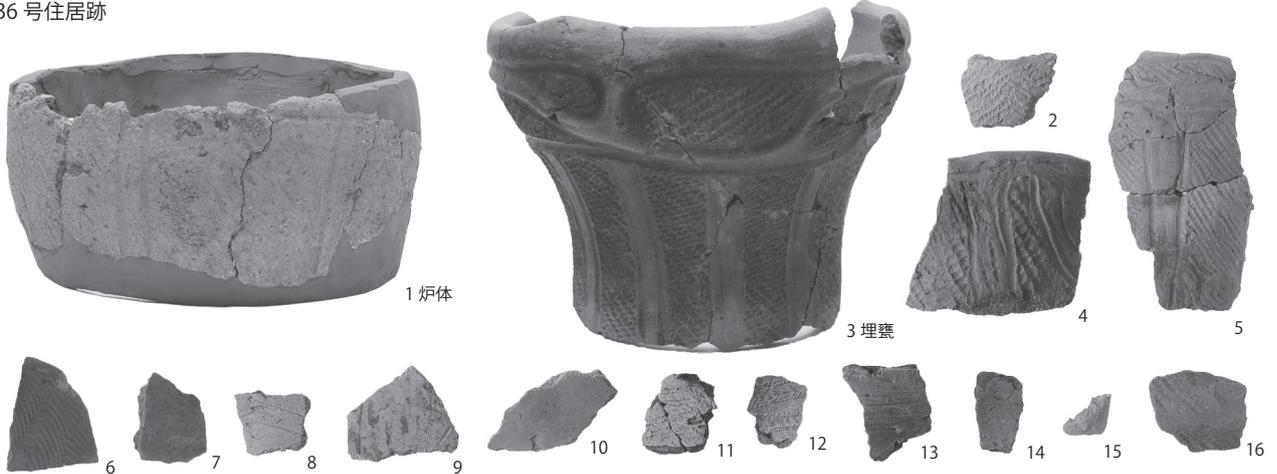


ハケ遺跡第 24 地点本調査風景

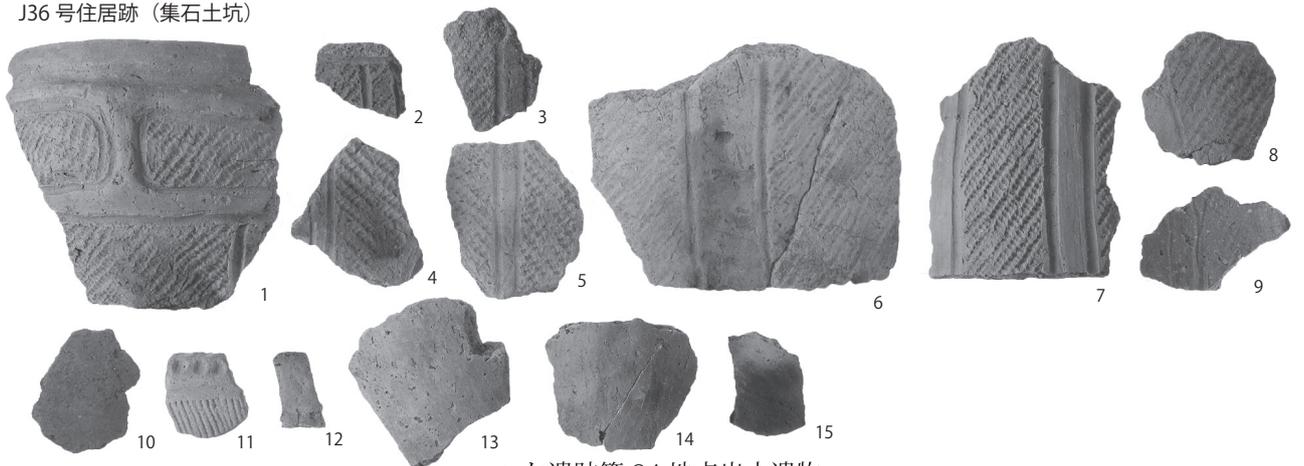


ハケ遺跡第 24 地点博物館実習

J36 号住居跡



J36 号住居跡 (集石土坑)

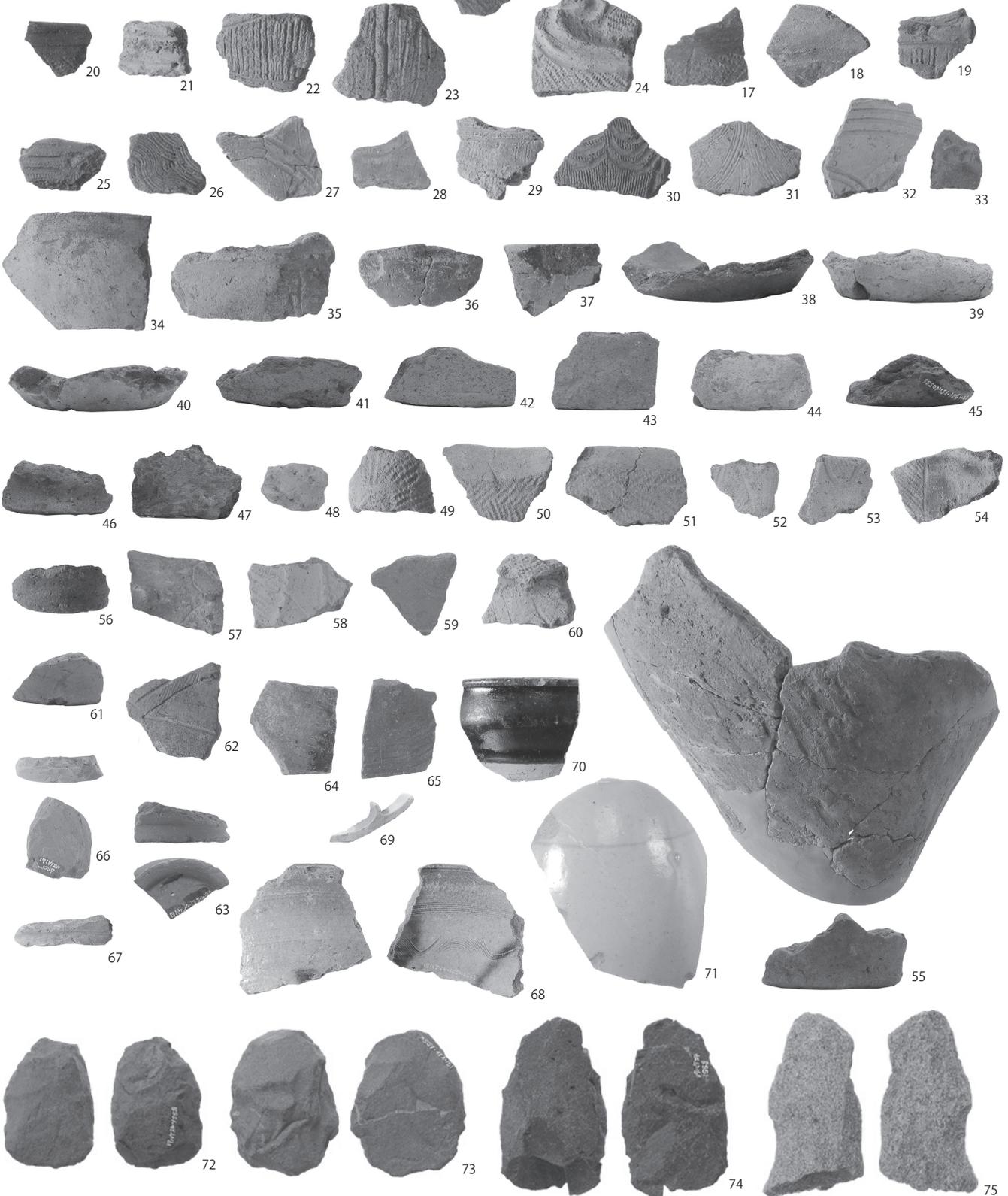


ハケ遺跡第 24 地点出土遺物

竪穴遺構

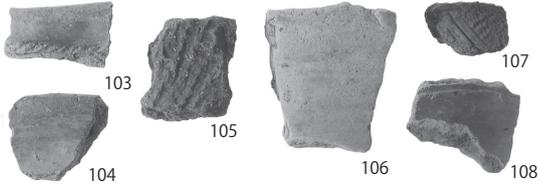


集石土坑





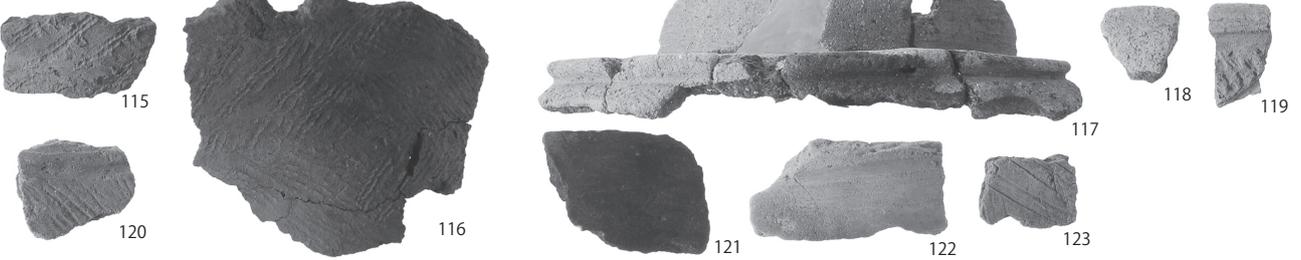
土坑 1



土坑 2



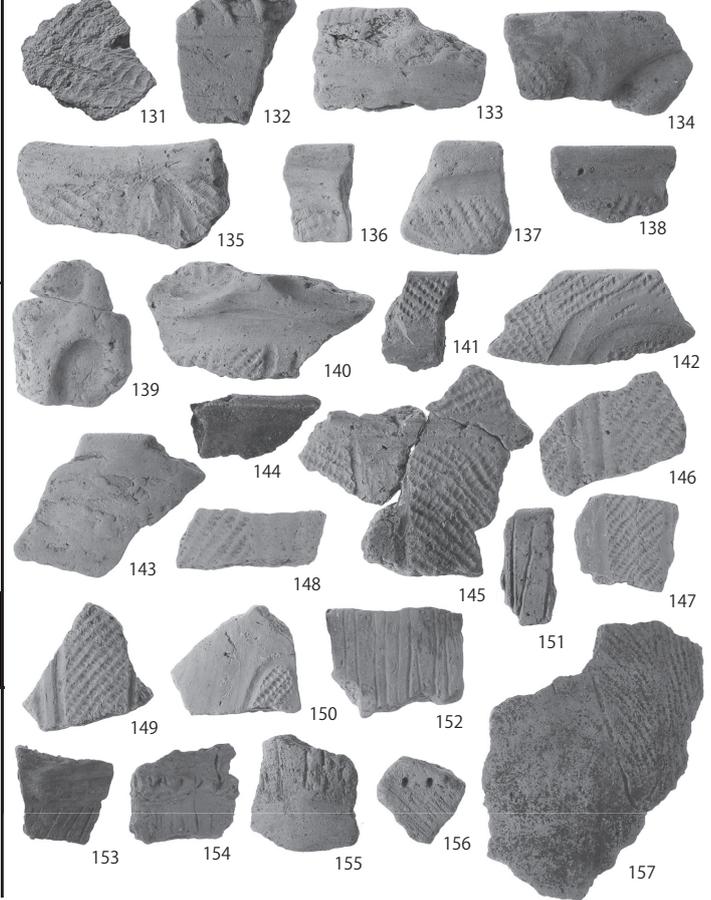
ピット 1



ピット 2



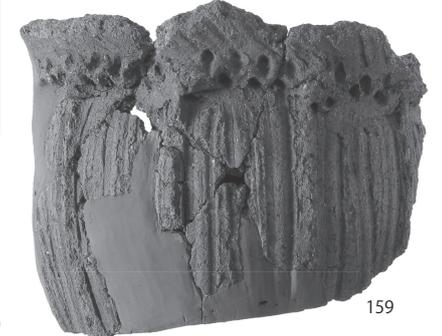
ピット 3



ピット 11



ピット 12



遺構外



ハケ遺跡第 24 地点出土遺物